



あらおしはいくきょうかい  
**荒尾市俳句協会**

**地域文化活動部門**

概要

<b>団体名</b>	<b>荒尾市俳句協会</b>
<b>代表者</b>	<b>荒尾 茂子</b>
<b>構成</b>	<b>35名</b>
<b>推薦団体</b>	<b>荒尾市</b>
<b>主な活動地</b>	<b>荒尾市</b>

荒尾市俳句協会は、市民俳句活動の助長を図ると共に、俳句団体相互の連携を深め、地域俳句の育成と振興を図ることを目的に設立された団体です。

当団体は、辛亥革命の中心人物である「孫文」を支えた「宮崎滔天」の功績を顕彰する「滔天忌俳句大会」を毎年開催されており、前身の「荒尾俳句会」から数えて平成二十六年で第五十回目を迎えられました。

なお、本大会には、事前投句を含め、荒尾市にお住まいの方をはじめ県内外の俳句愛好者から多くの作品が寄せられているところです。

また、当団体では「滔天忌俳句大会」に加え、平成二十六年で第三十七回目を迎えた「夏休み少年少女俳句教室」や、同じく第三十八回目を迎えた「御田植祭協賛俳句大会」を開催するなど、俳句の普及に積極的に取り組まれておられます。

このように、当団体は、地域における俳句文化の存続と、次世代を担う若い世代への普及に尽力するなど、本県の文化振興に大きく貢献されています。

### これまでの主な活動歴

昭和五十年 「荒尾市俳句協会」を設立

「滔天忌俳句大会」を引き継いで毎年開催

昭和五十一年 「第一回御田植祭協賛俳句大会」開催(以後毎年開催)

昭和五十二年 「第一回夏休み少年少女俳句教室」開催(以後毎年開催)

平成二十六年 「第五十回滔天忌俳句大会」開催

「第三十八回御田植祭協賛俳句大会」開催

「第三十七回夏休み少年少女俳句教室」開催